



いっぽ

第60号（令和8年5月1日）

社会福祉法人庵原福祉会

さくらワーク

静岡市清水区蒲原44番地

TEL 054-385-5654



壁飾りのパーツをみんなで分担してつくりました。



4月・5月の壁飾り

実物は迫力満点。ご来所の際は、是非じっくりとご覧ください。



2月16日 ホットケーキ作り

思い思いのトッピングをしておいしく食べました



濱滝さん 縄跳び頑張って
みんな見守っているよ。



3月24日 岩本山 お花見



2月26日 富士市 みなと公園



いつもの仕事風景。みんな頑張っています。



1月5日 三島大社 初詣



愛は地球を救う



三島大社には鹿がいます



防災避難訓練（毎月実施）」



だり



仕事の合間に一休み

2月25日 ポップサーカス富士公演を見学



第5回理事会及び第4回評議員会の内容をお知らせします



令和8年3月9日理事会、3月23日に評議員会が開催されました。令和8年度事業計画、令和8年度当初予算等が審議され議案はすべて議決、成立しました。

報告事項

(1) 理事長職務執行報告

- ・第4回理事会(11/11) ・第2回評議員会(12/6) ・第3回秋まつり実行委員会(12/9)
- ・月次決算(12/22) ・月次決算、8年度当初予算検討会(2/27) ・第5回理事会(3/9)

(2) 所内行事について

- ・蒲原中学校生徒訪問(11/17)
- ・ワークホーム「結」との交流会(11/21)
- ・ジャトコ社員奉仕活動(12/6)
- ・クリスマス会(12/26) ※所内
- ・県庁へ就労Bのプランター納入(1/27)
- ・節分行事(2/3)



12月ジャトコの皆さん奉仕活動

(3) 令和7年度 さくらワーク支援「秋まつり」について

天候にも恵まれ祭りは大成功だった。利用者のステージ発表では、日頃の練習の成果を大勢の人の前で発表できたことが、自信に繋がる良い機会となった。お客さんも楽しんでくれており、雰囲気が良かった。さらに地域との相互理解も深まっているように思える。

第3回実行委員会より

- ・令和8年度も11月3日(祝火)に開催 町づくりカレンダーに掲載を依頼
- ・蒲原という土地柄もあり魚系の店舗が多いのはよいことだ。
- ・企業物品はバザー価格で初めから下げておきたい。
- ・ヤマザキ、いなば食品等の大企業とのやりとりでは、役員さんのお力を借りし大変助かった。
- ・玄関前に人が溢れてしまう。動線を検討したい。
- ・室内販売開始前に室内に入ってくるひとがおり、出演者か不審者なのかの区別がつかない。ネームプレート、張り紙等で対応したい。
- ・駐車場…ほとんど決まった場所に駐車をしてくれない。業者は台数も守っていない。来賓者用を確保したい。
- ・企業バザーのおつりが足りない。区切り良い額の価格設定を願う。
- ・今年度の意見を参考に次年度に繋げていく。

秋まつり収益		415,312	円
①	売上金寄付	152,312	円
	北田壮友会	6,800	
	抽選会	20,000	
	企業バザー	81,062	
	蒲原地区社協	44,450	
②	寄附金	263,000	円
	1口	17件	85,000 (1口; 5,000円)
	2口	8件	80,000
	4口	1件	20,000
	6口	1件	30,000
出店業者	1口	4件	12,000 (1口; 3,000円)
その他(匿名希望)		1件	36,000

(4) 地域連携推進会議

社会福祉法人がグループホームを運営するにあたり、地域社会との連携を推進するために、地域連携推進会議を置くことが令和7年度から義務付けられました。会議の参加者は次のとおりです。

- 1 利用者…西川貴博さん 2 利用者親族…濱滝壽伸さん 3 地域代表…松永政年さん(新栄区長)
4 福祉知見者…高田昇さん(他法人評議員) 5 渡邊雅之(施設長) 6 星崎桂子(GH 主任)

12月10日に第1回会合が開催され、GH ひだまりの運営方針、利用者の個別支援計画等の説明がされ
共通理解が図られた。その後、グループホームの見学を行い、意見交換がされた。

(5) 感染対策委員会

利用者さんの安全管理の観点から感染対策は、きわめて重要であり、感染を未然に防止し、発生した場合、感染症が拡大しないよう速やかに対応する体制を構築することが必要である。そこで施設・事業所等における感染予防対策体制を確立し、適切かつ安全で、質の高い支援の提供を図ることを目的とし、当委員会が設置された。

- 会議参加者 施設長、サービス管理責任者、看護職員、給食担当職員
- 第1回会合 令和8年2月17日(火) 13時から
- 内容 運営方針・方法、役割分担、研修・訓練計画、感染管理 等

(6) 苦情解決第三者委員会

令和7年度 第2回苦情解決第三者委員会

- 開催日時 令和7年12月16日(火) 10時30分から
- 内容 ・施設に対する苦情 → なし(委員、施設双方で確認)
- 委員選出(全員が継続を了承) 第5回理事会で選出されました

社会福祉法人庵原福祉会 苦情解決 第三者委員

任期 令和8年1月1日～令和9年12月31日

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号	社会福祉事業歴等	備考
	緑川 武	〒421-3203	清水区蒲原10-8	054-385-2289	元蒲原地区連合自治会会長、元蒲原地区社会福祉協議会会長	再
	斎藤彰一	〒421-3305	富士市中之郷809-1	0545-81-0190	人権擁護委員・民生児童委員・富士市商工会副会長	再
	望月一民	〒421-3104	清水区由比北田101	054-375-3063	元公立中学校長・中部教育事務所社会教育課・元静岡県埋蔵文化財センター	再

※ 施設に対しての苦情等ありましたら、さくらワークまたは第三者委員にご連絡ください。

(7) 7年度の経営状況

令和8年1月末時点の額

- 流動資産合計 38,722,112 円
- 法人全体の収入合計 55,591,787 円 予算と比べての収入実績…81.1%
- 法人全体の支出合計 51,571,250 円(予算分) 予算執行率 …78.7%
- 収支差額 3,124,177 円
- 人件費率 67.4%(昨年度並)

※ 1月時点で概ね計画通りに予算が執行できています。なお、年間の決算額は7月にお知らせします。

なお、評議員会では第5回理事会での決議事項として庵原福祉会職員就業規則、庵原福祉会臨時職員就業規則の一部変更と庵原福祉会役員等報酬規程の一部変更について報告がありました。(内容については省略させていただきます。)

議案 1 令和8年度 庵原福祉社会事業計画について

令和8年度事業計画

1 経営の理念

「信頼」…利用者はもとより、保護者そして地域からも頼られる施設を目指す。その信頼が基盤となり、豊かな支援が実現する。

「共生」…誰もが相互に理解し支え合い、また互いの人格を尊重しあって生活していく。

2 経営の基本方針

「頼られる施設を目指して、施設運営の安定に努めます。」

～支援の充実、適切な法人経営～

- 常に利用者様の目線から「温かさ」「安心・安全」を最優先に支援します。
- 障害の多様化に対応できるよう、様々な支援方法の研究や実践に努めます。
- 四季折々の行事を取り入れ、豊かで楽しい時間の創出に努めます。→生き甲斐
- 適切な予算執行と業務の見える化を推進します。

3 具体的支援内容

就労継続支援(B)事業

支援目標

- ・利用者が日常生活におけるよい習慣を確立すると共に、地域社会への適応や社会生活能力を高めることを目標にして、あらゆる機会を通して生活支援を行う。
- ・自らのあるべき姿を感情豊かに表現する為の支援を行い、自らの言葉、態度で様々な表現が行なえる豊かな人間形成と多くの人とのふれあいや人間関係を築けるよう支援する。
- ・社会貢献に意識を向けるよう支援する。

生活介護事業

支援目標

- ・一人ひとりの障害の状況や特性を理解した上で、本人の意思や保護者の希望を尊重した個別支援計画を作成し、実行する。
- ・情緒の安定、身体機能や日常生活動作等の維持を目的とし、日中活動を中心とした支援を行う。
- ・日中活動を通し、利用者間や職員とのより良い信頼関係を築くと共に、安心・安全な生活ができるよう支援する。
- ・一人ひとりの個性や人格を尊重し、生きがいのある生活が出来るよう支援する。

共同生活援助事業

支援目標

利用者の自立と社会参加を促進するために、安心・安全な居住を長期間提供し、日常生活上の援助、日中活動支援等を行ない、これに必要なサービスを提供する。

※ 詳細な資料は、保護者会の際に配布します。

議案2 令和8年度 庵原福祉会当初予算案の承認について

社会福祉法人庵原福祉会 令和8年度当初予算

収入総額	59,538	千円
支出総額	59,538	千円
差引残高	0	

1 収入の部 (千円) ※ 一部費目は削除してあります。(収支0のもの)

費目	令和7年度 第二次補正	令和8年度 当初予算	増減	備考
自立支援給付費	59,627	51,591	-8,036	
1 介護給付費	34,569	26,832	-7,737	生活介護利用者減他
2 訓練等給付費	25,058	24,759	-299	概ね昨年並み、就労B利用者出席実績変化
利用者負担金	3,822	3,783	-39	
3 利用者負担金	3,822	3,783	-39	
補助金事業収入	456	559	103	
補助金事業収入	456	559	103	
経常経費寄付金	0	0	0	
4 経常経費寄付金	0	0	0	
受取利息配当金	36	36	0	
5 受取利息配当金	36	36	0	預金利子等
その他の収入	19	19	0	
6 利用者等外給食費	3	3	0	
7 退職共済	0	0	0	
8 雑収入	16	16	0	
施設整備等寄付金収入	300	300	0	
9 施設整備等寄付金収入	300	300	0	秋まつり売り上げ金、寄附金
積立資産取崩金収入	0	0	0	
10 退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	退職金充当積立より
サービス区分間繰入金収	4,250	3,250	-1,000	
前期繰越金	0	0	0	
収入合計	68,510	59,538	-8,972	法人内部での繰入金を合わせた収入合計

2 支出の部 (千円) ※ 昨年度、今年度ともに計上金額が0の費目は一部削除

費目	令和7年度 第二次補正	令和8年度 当初予算	増減	備考
人件費	43,081	39,200	-3,881	1～5の合計
1 職員給料	16,416	13,239	-3,177	正規職員1名減 他
2 職員賞与	5,462	4,253	-1,209	正規職員1名減 他
3 非常勤職員	16,784	18,395	1,611	最低賃金アップで増額、 非常勤職員2名増他
4 退職給付費	428	381	-47	福祉医療機構への掛け金
5 法定福利費	3,991	2,932	-1,059	社会保険料、労働保険料
事業費	7,229	7,210	-19	6～15の合計
6 給食費	2,680	2,502	-178	利用者、職員分
7 保健衛生費	265	265	0	保健器具、医薬品、就労B利用者健康診断
8 教養娯楽費	513	507	-6	クリスマス会、納会、諸行事、音楽交流会等
9 日用品費	54	84	30	一般日用品
10 光熱水費	1,563	1,563	0	電気代、ガス代、水道代、ボイラー ※事業費相当分
11 消耗器具備品費	360	372	12	防災関係消耗品（水、保存食） 衛生用品等
12 保険料	112	112	0	利用者傷害保険
13 教育指導費	270	270	0	活動材料、掲示物材料、音楽療法
14 車輦費	1,317	1,437	120	車検代、ガソリン代、消耗品費等（バス、ワゴン車、軽ワゴン、軽トラック）
15 雑費	20	20	0	慶弔費等
事務費	5,686	5,877	191	16～34の合計
16 福利厚生費	348	338	-10	職員健康診断、職員保険代、職員歓送迎会
17 職員被服費支出	45	69	24	
18 旅費交通費	245	245	0	一般旅費、役員旅費
19 研修研究費	90	90	0	外部研修参加費
20 事務消耗品費	184	224	40	事務備品・消耗品等

21	印刷製本費	290	290	0	コピー代
22	水道光熱費	732	732	0	電気代、ガス代、水道代 ※事務費相当分
23	修繕費	800	800	0	機械器具、設備、一般修繕
24	通信運搬費	413	480	67	N T T使用料、携帯電話使用料、切手代、ケーブルテレビ利用料
25	会議費	37	37	0	会議お茶代 等
26	業務委託費	589	589	0	浄化槽点検、夜間警備料、館内消毒費等
27	手数料	250	248	-2	銀行振込手数料、銀行アンサー手数料 等
28	保険料	385	430	45	バス、ワゴン車、軽ワゴン、軽トラック保険料（自賠責、任意）、建物共済
29	賃借料	612	612	0	印刷複合機リース代、コンピュータソフトリース代、電話機、カラオケ機等
30	租税公課	74	100	26	自動車税印紙代、その他：印紙代
31	保守料	403	404	1	自動ドア保守点検料、コンピュータ保守料、消防設備点検等
32	渉外費	5	5	0	慶弔費等
33	諸会費	122	122	0	外部団体所属会費等
34	雑支出	62	62	0	
	固定資産取得支出	4,880	200	-4,680	
35	建物取得支出	4,180	0	-4,180	
36	器具及び備品取得支出	700	200	-500	家電製品（ひだまり）
	積立資産支出	369	355	-14	35～37の合計
37	退職給付当資産	69	55	-14	静岡県社会福祉事業共済会へ
38	備品等購入積立資産	300	300	0	本部
	サービス区分間繰	4,250	3,250	-1,000	就労Bから本部、生活介護へ
	当期支出合計	65,495	56,092	-9,403	内部の繰入金を合わせた支出合計
	予備費	3,015	3,446	431	予備費（実収入と実支出の差）
	支出合計	68,510	59,538	-8,972	法人内部での繰入金を合わせた支出合計

令和8年度当初予算の説明

収入の部

- 自立支援給付費は、生活介護利用者3名退所や強度行動障害関係の加算がなくなったため大きな減額となった。
- 訓練等給付費（就労B、グループホーム利用分）については、約30万円の減。（例年並）
- 現時点では、補助金、積立金取り崩し収入、経常経費寄付収入は0円で見積もる。
- 補助金事業収入は、「物価高騰支援金」等を見込む。
- 施設整備等寄附金収入30万円は、秋まつりの収益金。

支出の部

- 人件費の388万円の減額は、昨年度に比べ本年度は正規職員が1名減となっているため。
- 事業費総額は、ほぼ昨年度並み。
- 事務費19万円の増額は、事務消耗品費、通信運搬費、保険料等の増額によるもの。
- 修繕費は緊急の修繕は少ないと思われるので、例年並みの80万円を計上。
- 予備費は、3,446千円見込まれる。これは、本年度予定されている。これは年度途中で正規職員が採用になった場合の給与にあてる予定。

令和8年度庵原福祉会 職員組織



○ 兼務従事者

施設長（管理者）	渡邊 雅之
サービス管理責任者・事務	松本 幸美
非常勤事務員	高田 昇

○ 就労継続支援事業

主任支援員	網川はるみ
非常勤支援員	服部 一雄
非常勤支援員(新任)	近藤 展世
非常勤支援員(新任)	松永 幹雄

○ 生活介護事業

主任支援員	稲葉 朋子
非常勤支援員	鰐口知津子
非常勤支援員	大石 廣子
非常勤支援員	深澤奈加子
非常勤支援員（看護師）	谷若きい子
非常勤支援員（運転手）	片瀬 一幸
非常勤支援員（給食担当）	小林 清美
非常勤支援員（新任）	谷村恵理子

○ 共同生活援助事業（ひだまり）

主任	松本 幸美（兼務）
非常勤世話人	沼尻 康子
非常勤世話人	深澤奈加子（兼務）
非常勤世話人	志田 秀子
夜間支援員	井上 幸博
夜間支援員	井上 淳二
夜間支援員	草谷 佳杜



本年度は、以上総勢 20 名の職員で
お世話させていただきます
どうぞ宜しくお願い致します。

ご挨拶

令和8年度は、就労継続支援B 11名、生活介護9名、ひだまり3名、職員20名でスタートしました。前年度当初にくらべ、生活介護で3名減となり、寂しい気持ちもありますが、職員一同「利用者さんファースト」を念頭に、より質の高い支援を目指し取り組んでいく所存です。

さて本年度は、これまで全面休業日としていた土曜日、祝日の内年間8日間を通常の開所日としています。これは従来の休日開所日とは異なり、就労B、生活介護のそれぞれが通常の活動・支援を行うものです。なお送迎、給食等も通常通りに行いますので、是非ともご利用ください。

さくらワークは本年度も、「頼られる施設」を目指して、保護者の皆様からのご意見・ご要望等をできる限り受け止め、より充実・安定した施設運営に努めていきたいと考えております。

引き続きご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

施設長 渡邊 雅之

行事予定

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ・ 5月 7日（木） 就労工賃支給、訪問理美容 | ・ 6月 4日（木） 訪問理美容 |
| ・ 12日（火） 保護者会 | ・ 5日（金） 工賃支給 |
| ・ 15日（金） 内科検診 | ・ 11日（木） フルーツ演奏会 |
| ・ 16日（土） 清水スポーツフェスティバル | ・ 19日（金） 内科検診、音楽療法 |
| ・ 22日（金） 音楽療法 | ・ 30日（火） 職員会議・研修 |
| ・ 26日（火） 職員会議・研修 | 防災避難訓練 |
| ・ 29日（金） 防災避難訓練 | ※会議・研修日は1時間早い帰り |